

01 | 2021年度 プロジェクトS活動報告①

1 集客交流人口増加の「核」となる事業検討

- 三重県南部地域活性化基金事業費補助金
交付申請・交付決定（4月5日）
- (株)エイルとの業務委託契約締結（4月8日）
- 庁内WG発足、WG会議を随時実施
- 委託業者・庁内関係課との打合せを随時実施
- 基本構想・基本計画・実施計画策定（3月）

2 尾鷲式サウナ製作プロジェクト

- クラウドファンディングの実施（昨年3月～5月）
 - ✓ 目標金額の達成
- 尾鷲式サウナの商品化（名称：COCO SAUNA）
- (株)ホークアイを主体に事業化
 - ✓ 報道・団体等からの取材
 - ✓ サウナに関するオンラインイベントへの参加
 - ✓ 3件の受注・納品実績

3 グランピング等事業可能性調査

- 三重県南部地域活性化基金事業費補助金
交付申請・交付決定（4月5日）
- (株)グラノ24Kとの業務委託契約締結（5月20日）
- 発電所跡地を含む尾鷲市内視察・調査
（6月・12月）
- 発電所跡地におけるグランピング等宿泊事業及び
飲食物販事業の可能性調査等報告（3月）

4 スポーツ振興ゾーン整備検討

- 市民懇談会の開催（11月1日～11日）
- 尾鷲市議会の発電所跡地視察（12月10日）
- 公聴会の開催（12月21日、26日）
- 社会資本整備総合交付金要望書類提出（1月）
- 都市計画審議会の開催（11月25日、2月28日）
 - ✓ 都市計画の変更により「国市浜公園」を都市公園として追加
- 基本計画の策定（3月）

01 | 2021年度 プロジェクトS活動報告②

【プロジェクトS主な活動内容①】

【集客交流人口増加の「核」となる事業検討】

■ 内容

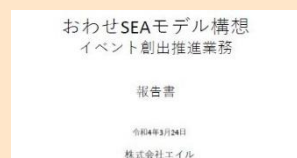
- 1 事業名：イベント創出推進事業
- 2 概要：既存の資源・資産を活用した持続可能な地域活性化に資する取組を推進し、集客交流人口の増加を図るため、尾鷲市役所内設置の「庁内イベント事業推進WG」と連携のうえ、基本構想・基本計画・実施計画を策定する。
- 3 期間：令和3年4月8日～令和4年3月25日
- 4 事業者：(株)エイル
- 5 WG：令和3年4月～9月にかけて16回開催し、新規イベント案及び既存イベント規模拡大案等について検討
- 6 成果物：別添「おわせSEAモデル構想 イベント創出推進業務 報告書」

■ 来年度以降の活動計画（予定） （令和4年度）

- ・既存イベントの規模拡大検討
- ・複数イベントの連携・同日開催検討

（令和5年度以降）

- ・跡地への既存イベント移設開催交渉
- ・県外イベント誘致交渉
- ・新規イベント企画



【尾鷲式サウナ製作プロジェクト COCO SAUNA】

■ 内容

- 1 事業名：尾鷲式サウナ製作プロジェクト
- 2 概要：おわせSEAモデル協議会による創業支援により(株)ホークアイが主体のサウナ製作・販売が実現
- 3 期間：令和3年9月～
- 4 事業者：(株)ホークアイ、地元製材業者・加工業者等
- 5 成果物：別添「COCO SAUNA 導入事例」



三重県志摩市
Kabuku Resort 様



新潟県妙高市
Lodge Raven 様



三重県伊勢市
浦 様

※お菓子・パンなどの販売
店舗としてのご利用

■ 来年度以降の活動計画（予定） （令和4年度以降）

- ・COCO SAUNA受注・生産・販路拡大に向けた活動支援
- ・跡地における施設サウナ誘致に向けた活動

【プロジェクトS主な活動内容②】

【グランピング等事業可能性調査】

■ 内容

- 1 事業名：グランピング等宿泊施設・飲食物販等事業可能性調査・検証事業
- 2 概要：グランピング等宿泊施設・飲食物販等の事業可能性について調査・検討し、企業誘致につなげ、集客交流人口の増加を図る。
- 3 期間：令和3年5月20日～令和4年3月25日
- 4 事業者：(株)グラノ24K
- 5 調査：令和3年6月及び12月において、参画の可能性のある企業とともに市内視察・調査を行い、関係者等と意見交換を実施
- 6 成果物：別添「グランピング等宿泊事業及び飲食物販事業の可能性調査・検証等報告書」



グランピング等宿泊施設
の事業可能性調査・
検証報告書

株式会社 グラノ24K

■ 来年度以降の活動計画（予定）

（令和4年度以降）

- ・撤去工事終了後を見据えた企業誘致活動

【スポーツ振興ゾーン整備検討】

■ 内容

- ・市民懇談会の開催
令和3年11月1日～11日 市内14か所で開催
- ・尾鷲市議会の発電所跡地視察
令和3年12月10日 尾鷲市議会議員10名参加
- ・公聴会の開催
令和3年12月21日・26日の2日間開催。8名による公述あり。
- ・社会資本整備総合交付金要望書類提出
概算要望書類（令和3年5月）及び本要望書類（令和4年1月）を三重県に提出
- ・都市計画審議会の開催
令和3年11月25日、令和4年2月28日開催
都市計画の変更⇒「国市浜公園」を都市公園として追加
※答申書において、築山計画は、一時避難所としての機能は不適当であり、一時避難場所の最も効果的な工法を検討されたい旨の意見あり。
- ・おわせ多目的スポーツフィールド整備事業基本計画策定
令和4年3月24日 議会行政常任委員会 内容説明
令和4年3月31日 臨時議会 令和4年度関連予算承認

■ 来年度以降の活動計画（予定）

（令和4年度）

- ・設計等業務

（令和5年度以降）

- ・エリア内施設の着工

02 | 2021年度 プロジェクトE 活動報告①

項目	内容	結果・今後の方針	その他
企業誘致活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発電事業者の誘致にかかる技術的な検討 ・輸入木質ペレットを活用した木質バイオマス発電 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術的課題および事業性評価などの観点から誘致には至らず 	【設備仕様（想定）】 仕様：木質バイオ 発電出力：数十万kW 必要燃料：輸入ペレット
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発電事業者の誘致にかかる技術的な検討 ・有価物のゴムチップを使用した液体化発電 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 先行プラントを建設中のため、その実績を踏まえて改めて検討（関係は継続中） 	【設備仕様（想定）】 仕様：液体化発電 発電出力：未定 必要燃料：ゴムチップ
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発電事業者の誘致にかかる技術的な検討 ・木質ガス発電と連携した地熱発電 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在、提案内容および技術的課題の確認・協議を展開中 	【設備仕様（想定）】 仕様：地熱発電 発電出力：未定 必要燃料：地熱
排熱供給	<ul style="list-style-type: none"> ■ 排熱供給詳細検討 計画している木質ガス発電設備から得られる排熱の活用方法の検討および供給可能量※の詳細検討を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今年度得られた成果を基に、供給スキームの検討および具体的な供給候補先を見据えた検討を展開 	※陸上養殖等に必要な熱量の一部を供給することを目的とする

02 | 2021年度 プロジェクトE 活動報告②

項目	内容	結果・今後の方針	その他
木質バイオマス 発電事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 燃料調達先と契約に向けた協議 ■ 木質バイオマス発電事業化、排熱活用ほか検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2023年度運転開始（予定） ※鋼材価格などの市況の高騰、ウクライナ紛争の影響も懸念	【設備仕様（検討中）】 仕様：木質ガス発電 発電出力：450kW 敷地面積：約15,000㎡ 必要燃料：約5,000トン/年
太陽光 発電事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 太陽光発電事業化、売電方法、仕様ほか検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2023年度運転開始（予定） 	【設備仕様（検討中）】 仕様：太陽光パネル 発電出力：1,500kW程度 敷地面積：約20,000㎡



※掲載写真はイメージ

【プロジェクトA主な活動内容①】

【エビ陸上養殖事業の検討①】

■ バイオフィロックテクノロジー（BFT）による バナメイエビ養殖基礎試験

目 的：BFTによるバナメイ養殖に係る基礎データ取得

期 間：6月2日～10月6日

場 所：三重県水産研究所尾鷲水産研究室

実施者：おわせSEAモデル協議会 PJ-A

パートナー企業

結 果：昨年までの実験の成果や有識者からの助言を
基に3m³水槽にて国産バナメイ稚エビ(PL20)
から成エビ(約10cm)の成育に成功

■ エビ養殖試験見学会の開催

日 時：10月5日

場 所：三重県水産研究所尾鷲水産研究室

概 要：関係者・報道機関に養殖実験と成果を発表



【エビ陸上養殖事業の検討②】

■ プレマーケティング調査の実施

- ・ 市内水産事業者、県内食品卸、食品コンサル企業の協力の下、実験で生産したエビを用いてプレマーケティング調査を実施し、一定の好評価を得た。また国産エビの安定供給への期待が大きいことを確認した。
- ・ 11月2日にマーケティング調査の一環として、市内飲食店にて試食会を実施、またその模様を報道各社に取材いただき情報提供を行った。

■ 事業化に向けた課題点

- ・ BFTによる生産システムの確立
- ・ エビ種苗の安定確保

■ 来年度の活動

- ・ 事業化に向けた養殖試験
- ・ FS調査・マーケティング調査
- ・ 事業体構築に向けた取組み



【プロジェクトA主な活動内容②】

【藻類養殖事業の検討】

■ 火力発電所跡地を活用した「藻類の養殖実証試験」に係る三重大学との共同研究

目 的：藻類養殖に係る発電所跡地の地下海水の適性を評価・確認

期 間：海ぶどう養殖試験 4月27日～10月18日
すじ青のり養殖試験 10月29日～3月31日

場 所：尾鷲三田火力工事所内

実施者：おわせSEAモデル協議会 PJ-A
三重大学

結 果：海ぶどう・すじ青のりについて一定の成長が確認できた。しかし地下海水の塩分濃度等、成長に及ぼす不安要素も確認したため、継続調査を実施する。



【企業誘致・事業化に向けて】

■ 陸上エビ養殖事業

- ・ 基礎試験の成功により事業化の実現可能性が増した。
- ・ 見学会等メディアを活用した情報発信から各種問合せが増加し、また地域からの期待の声が高まった。
- ・ 検討を重ねているパートナー企業との関係を深め、さらに新たな参画企業を発掘する等、事業化に向けた取り組みを進めていく。

■ 海ぶどう養殖事業

- ・ これまで複数の事業者と意見交換や養殖試験を実施してきた。
- ・ 現在、参画希望企業1社と2023年の事業開始を目標に協議を始めた。

■ すじ青のり養殖事業

- ・ 養殖事業者と意見交換を重ねるとともに、実施している養殖試験の各種データを開示し、企業誘致に繋げる。

■ その他

- ・ 陸上養殖に限らず、SEAモデル用地活用に係る事業について積極的に情報交換を行い誘致活動を進める。